



玉江小学校だより

玉江の教育

ホームページURL <http://www.keinet.com/tamaes/>

令和4年12月発行
鹿児島市立玉江小学校
第 9 号

温かい指の押し方を模索しながら・・・

玉江小学校 校長 佐々木 好彦

11月末から12月上旬にかけて持久走大会を実施しました。これまでの校庭に設置した200mトラックを周回するコースから、隣接する県立短期大学のご理解とご協力をいただき、本校校庭とそのグラウンドをつなぐ新しいコースで実施しました。

加えて、10月末に交流学习を行った県立豊学校の校長先生にお声かけさせていただき、小学部12人の皆さんも迎え、競い合うことができました。各学年数名ずつしか在籍しておらず、競い合う楽しさを味わうことがなかなか難しいというお話を何かの機会にうかがっており、本校職員の理解を得て、実現したものでした。



実施した3日間、多くの保護者や祖父母の皆様に応援に来ていただきました。本当にありがとうございました。県立短期大学の授業の関係でそのグラウンドでの応援ができず、保護者の皆様にはスタートとゴールの短い時間帯だけの応援になり申し訳なかったのですが、お楽しみいただけたでしょうか？

私がこの大会を経験して最も強く印象に残ったことは、「応援のありがたさ」ということでした。印象的な3つの場面を紹介します。私は、本校校庭と短大グラウンドをつなぐところで安全管理を行っていました。ここの復路は、全コースの8割から9割に当たるところでもっともきつい場所だと思われれます。へとへとになって今にも歩き出しそうな児童も、多くの保護者と友達が待つ校庭に差し掛かると、自然とスピードが上がり最後のひと踏ん張りが効いてきます。まさに応援に応えようと最後の力を振り絞る姿が全てのレースで見ることができました。

2点目の応援の力。高学年児童は、校庭と短大グラウンドを結ぶコースを2周走る設定でしたので、私が立っている幅4mほどのテニスコート横では、1周目の復路と2周目の往路の児童が離合する形になります。1周目の帰りを苦しそうに走っている児童が2周目の先頭を走っている児童に「がんばれ」の一言。逆に2周目の児童が1周目の後方で粘っている児童に「よく、がんばっているよ」の一言。そのような場面を複数回見ることができ、温かい気持ちになりました。

3点目の応援の力。学年によっては、ひまわり1組の福田先生や校務支援員の川原先生が最後方の児童に寄り添って励ましながら走ってくださいました。ある学年では後方の間隔が開いてきたので、私も一人の児童に付いていきました。短大グラウンドの第3コーナー、本校から最も遠い走路の横が豊学校の寄宿舎になっているのですが、その職員や園児・児童の皆さんが豊学校の児童だけでなく、通過する児童全員に大きな声、大きな動作で応援してくださっていました。最も応援が薄くなる地点での応援は、伴走している私も力をもらいトラック残り半分を走ることができました。なかなか聞こえにくい豊学校の児童は大きな動作に元気をもらい、本校児童にも力を加え、本当にありがたいと思いながら通過しました。

この原稿を作り上げるのに四苦八苦している最中に県PTA新聞1月号が届き目を移すと、そのコラム「星座」の中に「お釈迦様の指」の話題が紹介されていました。私もこの話は読んだ書物や研修会の中で学んでおり、常にこうありたいと思いながら、実践できずじまいの日々を過ごしています。



ここまで紹介した私の心に残る応援の数々が「お釈迦様の指」となって子供たちの背中を押してゴールまでたどり着いたのかもしれない。

ちなみにこの1月号の表紙は太田敬介前PTA会長の対談での慈愛に満ちた言葉、3面には富永尚現PTA会長の「見上げてごらん夜の星を」の曲に込めた愛情たっぷりの文章が掲載されており背中を押していただいているように感じます。教師の立場、保護者の立場で子供たちの成長を見守ったり、温かい指でそっと押ししたり・・・お互い研鑽を重ねていきましょう。

強い心で走りぬいた 持久走大会



長い距離を自分のペースで走り通す能力を養い、完走することの喜びを味わわせると共に、自己の記録に挑戦していこうとする態度を養うことを目的として、校内持久走大会を実施しました。今年度は、県立短期大学の広いグラウンドをお借りして、玉江小の校庭と県短のグラウンドを走るコースを設定して実施しました。鹿児島聾学校の友達も一緒に参加していただき、交流を深めることができました。ボランティアで安全管理のお手伝いをしてくださったたくさんのPTAの皆様、応援をくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。そして、自己ベストの樹立や完走など自分の目標に向けて練習の成果を生かしてがんばった子どもたちに心から拍手を送ります。

立派な門松が完成しました



12月17日、根っこの会(親父の会)の皆様による門松づくりが実施されました。お父さん方が小学生の頃に比べてお正月らしさが薄れてきている近年ですが、子どもたちや地域の方々に日本の伝統文化やお正月らしさを感じてほしいと、寒い中たくさんの方々の協力により、和気藹々と温かい雰囲気の中で門松づくりが進められていきました。

1月の主な行事予定

- 10日(火) 始業式、給食開始
清掃強化週間(～15日まで)
- 11日(水) クラブ活動
- 13日(金) 下校指導(全学年)
- 14日(土) 土曜授業・火災想定避難訓練
- 17日(火) 鹿児島学習定着度調査1日目(5年)
租税教室(6年)
- 18日(水) 鹿児島学習定着度調査2日目(5年)
クラブ活動(3年クラブ見学)
- 20日(金) 伊敷中学校体験入学説明会(6年)
玉エコの日
- 23日(月) 親子読書の日
- 25日(水) 児童代表・保健/委員会活動
- 26日(木) 「ふれてみよう かごしま弁事業」(4年)
- 引き渡しカードは、1月13日(金)までに全員提出してください。

感動を届け味わった 鹿児島市音楽会



12月2日に鹿児島市の音楽会が川商ホールで開催され、玉江小学校からは代表で4年3組が出場し、「陽気な船長」のリコーダー奏と「いのちのオーケストラ」の斉唱を行いました。一人一人がしっかりとリコーダーの音や声を出し、たくさんの人たちの前で堂々と演奏したり歌ったりすることができました。観賞する態度も大変すばらしかったです。

受賞・入賞 おめでとございます

- 第66回西日本読書感想画コンクール
- 〈指定図書の一部〉【特選】 1年 石花 咲蓮
5年 杉安 永
 - 〈指定図書の一部〉【入選】 3年 向吉 優奈
 - 〈自由図書の一部〉【入選】 1年 森永 華帆
3年 福元 優心
5年 寿島 蓮人
6年 中摩 祐里

- 税に関する書道展【金賞】 6年 山下 仁
- 第29回「わたしのかなえたい夢」作品コンクール
作文の部【佳作】 1年 川内田 綾菜
3年 宮元 大輔
6年 高山 泰平

- J・A小・中学生交通安全ポスターコンクール
- 【銅賞】 3年 堂地 爽天
 - 【佳作】 5年 石田 結菜
- 第24回南九州市かわなべ青の俳句大会
- 【特選】 1年 酒匂 慎司
「うんていで ぼくをはげます せみのこえ」
4年 中森 ひな
「バッタとぶ みどりのなかに かくれんぼ」
4年 増田 小夏
「ドラえもん コロナなくなる 道具ある？」
 - 【入選】 1年 叶 大和
「ランドセル ぼくといっしょに なつやすみ」
3年 馬場畑 涼介
「青と白 絵の具みたいな 夏の空」
3年 田代 佳樹
「ぼくうえた いねがきれいに ならんでる」
5年 田中 稜真
「戦争を やめると怒る 桜島」
6年 内野 心結
「毎日が 最高温度 更新中」

- 第9回「心に残る給食の思い出」作文コンクール
- 【入選】 5年 永井 結梨
- 情報モラル啓発に関する標語作品
- 【親子で作る標語・優秀賞】
1年 三窪 葵羽 保護者 三窪 晃子 様
 - 【小学校標語・優秀賞】
5年 仮屋崎 光
 - 【小学校標語・優良賞】
5年 福田 結大
 - 【PTA会員標語・優秀賞】
保護者 岩渕 祐佳 様

